

蜂谷 葉子 & 大岡 真紀子

Piano Duo

サン＝サーンス礼讃 ～没後100年に寄せて～

Program

フランツ・リスト

交響詩「レ・プレリュード」(自編)

F. Liszt Symphonie Poème Les Préludes, deux pianos par l'auteur

カミーユ・サン＝サーンス

死の舞踏 作品40 (自編)

*C. Saint-Saëns Danse Macabre op.40
à deux pianos par l'auteur*

スケルツォ 作品87

Scherzo op.87

オペラ「サムソンとデリラ」より
バッカナール (ベنفエルト編)

*Samson et Dalila Bacchanale
à deux pianos par G. Benfeld*

交響曲第3番 作品78 (自編)

*Symphonie No.3 en ut mineur op.78
à deux pianos par l'auteur*

ピアノデュオコンサートシリーズ Vol.14

2021 10.16 (土) 15:00開演 (14:30開場)

加賀町ホール (東京都新宿区市谷加賀町 2-5-26)
大江戸線「牛込柳町駅」から徒歩5分 (嵐千家東京出張所の隣)

ピアノデュオの魅力 Vol.15

2021 10.27 (水) 19:00開演 (18:30開場)

兵庫県立芸術文化センター 神戸女学院小ホール
阪急電車神戸線「西宮北口」南改札口より連絡通路すぐ

アクセス



Yoko Hachiya

Makiko Ooka

蜂谷 葉子 & 大岡 真紀子

京都市立芸術大学卒業。その後それぞれフランス、アメリカなどで研鑽を積みながらソロリサイタルの他、オーケストラ、器楽、声楽とのアンサンブルなど様々な形で演奏活動を展開。

2003年よりデュオ活動を開始。四手ならではの「ピアノが表現し得る新たな音の世界」を探索すべく、四手連弾、二台ピアノ用オリジナル作品に加え、オーケストラ作品の編曲ものや様々なジャンルの曲を手がけてきた。大阪、京都、東京、長野にて重ねてきた公演は80回を超える。

リサイタル「ピアノデュオの魅力」シリーズとして2006年、そして2008年以降毎年秋に京都・青山音楽記念館及び兵庫県立芸術文化センター神戸女学院小ホールにて公演を開催。コンセプトのあるプログラムも含め、好評を博す。

またこのシリーズ番外編として、2人のソロによる「モンポウ「歌と踊り」」全曲演奏会を2012年5月に、続いて2014年5月に本編Vol.7の姉妹版でもある番外編Vol.2「もうひとつの顔～ラヴェルの作品とその周辺～」を開催。

ライブ感溢れるコンサート作りを目指す2人のデュオは常に現在進行形。



©TAKUMI JUN

入場料 ¥3,000 (全席自由)

※5歳未満のお子様のご入場はご遠慮下さい

※本公演はお客様にマスク着用をお願いする等の感染予防策に則り開催致します

主催・お問い合わせ・チケットお申込み:ドゥーピアノムジーク deuxpianos.musique@apost.plala.or.jp Tel 050-7117-3243

後援:京都市立芸術大学音楽学部同窓会真声会・真声会京都支部・真声会大阪支部・一般社団法人全日本ピアノ指導者協会(ピティナ)

協力:アンド企画 フライヤー制作:アトリエモーリス音楽事務所